



Title	見えないものを見る…… ピンぼけ山歩
Author(s)	北辻, 稔
Citation	デザイン理論. 2005, 46, p. 184-185
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/52877
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka



ピンぼけ感覚で
山中を奥深く入っていく。

谷筋を伝い、尾根道を登る。



息が荒くなり、
汗が吹き出してくる。

しばらく我慢している
と、山を歩くことに
慣れ、身体が山と
一体になってくる



ように感じてくる。
何を求めるでもないが、何か向こう
から立ち現われてくる

予感を持続させながら歩き進める。



だいぶ歩いてきたが、
いつまで経っても、
なんら明確な輪郭が
結ばれてこない。



しかし、身体は軽く、
爽快な気分なのである。

見えないものを見る
……ピンぼけ山歩

北辻 稔
財大阪都市協会



そういえば、歩いている間、
始終、鳥の音が
山中に響き渡っていたようだ。